

2025年3月12日

逗子第一運動公園アダプトプログラム／植樹地保全作業

(株) 研 進 出 縄 貴 史

掲題について、下記の通り、本年度第5回目の作業を行いましたので報告します。

記

1. 日時：2025年3月12日（水）9：45～12：00（2.25時間）
湘南風mai!えるしい 9:45～11:45（2.00時間）
横須賀へーメット 10:30～12:00（1.50時間）
研進 9:45～12:00（2.25時間）
2. 場所：逗子第一運動公園植樹地（2014年10月、宮脇方式により1,000本の苗木を植樹した場所）及びその外側の通路沿いの植栽地
3. 参加者：湘南の風mai!えるしい4名、横須賀へーメット4名、研進3名、合計11名
4. 作業：
 - (1) 植樹地：① 間伐・枝打ち（唐ネズミモチ、マテバシイ等＝潜在自然植生種以外）
② 業者に伐採を依頼する樹種の選定と黄色テープ設置。
③ しがら・粗朶組み（間伐枝を活用／植樹地内に通路を形成）
 - (2) 植樹地の外側（道路沿い）
外来種の唐ネズミモチ、毒性を有す夾竹桃（何れも中間枝）の剪定・枝打ち。
⇒ 唐ネズミモチ、夾竹桃共に、道路沿いに侵入し高く伸びて、潜在自然植生種の植樹地の日照を遮っているため、胸高程度で間伐・剪定を実施。



上：駐車場から植樹地へ機材を運ぶ。
右：夾竹桃の中間枝の剪定・枝打ち

剪定した枝を通路から植樹地へ移動



伐採する樹木の選定と黄色テープ設置。唐ネズミモチ、マテバシイ等の潜在自然植生種から外れる樹種を選び伐採対象とする。直径 10cm 以上の樹木は、業者に伐採を依頼するための準備作業。



植樹地の東南側／夾竹桃の中間枝を剪定して植樹地への日照を改善させる。

ノコギリで枝を切り「しがら・粗朶」とする。



植樹地内には、間伐・剪定枝を利用して柵（シガラ）を組み、観察も可能な通路を確保。 2



本日の参加者：時折、霧雨が降る中、久しぶりの作業を、皆で協力して行いました！ ご苦労様でした！

以上